

海外発信に向けたアイコンのデザインマニュアル

1	海外発信に向けたアイコンについて	1～
2	海外発信に向けたアイコンの展開カラー	2～
3	海外発信に向けたアイコンの展開カラーと背景色	3～
4	海外発信に向けたアイコンのアイソレーション	5～
5	海外発信に向けたアイコンの最小使用サイズ	6～
6	海外発信に向けたアイコンの使用禁止例	7～
7	例外利用について	8～

※本デザインマニュアルでは
海外発信に向けたアイコンを「アイコン」と表示します。

アイコンキャッチフレーズに込められたメッセージ

Tokyoを異なる文字で繰り返し、東京のイメージを印象づけるデザイン。

筆文字のTokyoとゴシック体のTokyoは、江戸から続く伝統と最先端の文化が共存している東京の特色を表現している。

そうした部分をOld meets Newでも重ねて強調。伝統の部分は墨で、先進性は未来へ広がる青い空をイメージしたブルーで表現している。

また、東京の新しい観光名所である渋谷のスクランブル交差点をイメージした「落款」をデザインして付けてある。

海外発信に向けたアイコン

基本形 I Old meets New アリ



展開形 I Old meets New アリ



基本形 2 Old meets New ナシ

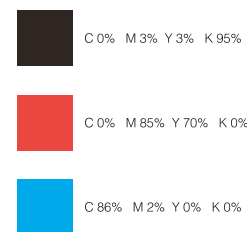


展開形 2 Old meets New ナシ



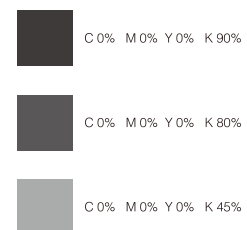
メインカラー

TokyoTokyo Old meets New



モノクロ表示

TokyoTokyo Old meets New



TokyoTokyo Old meets New



海外発信に向けたアイコンの展開カラーと背景色

落款は可能な限り、視認性を損なわないように、下記よりふさわしいものを使用して下さい。「落款」はできる限りヌキ表示を優先して使用して下さい。

場合によっては、白背景アリの使用も可です。視認性が保たれているかどうかをチェックし、適切なものをご使用ください。

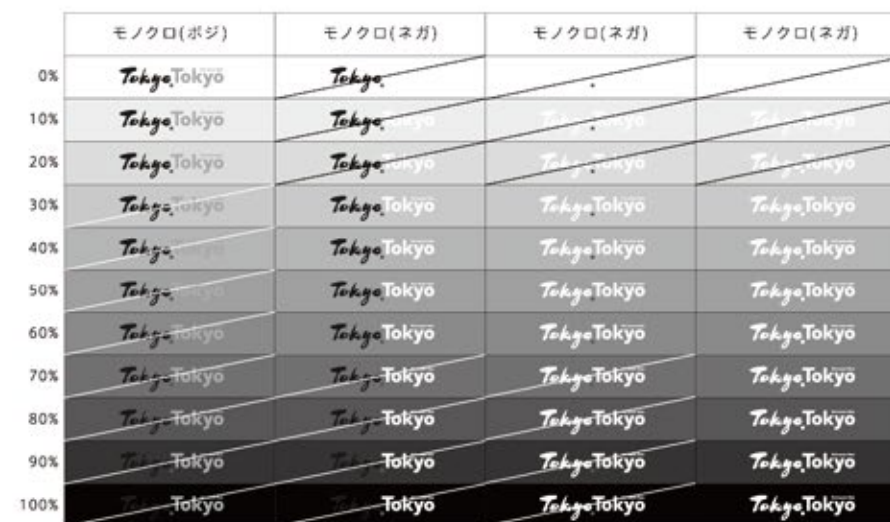
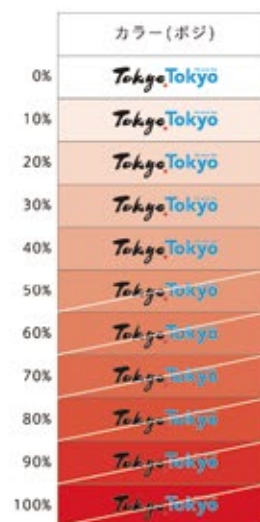
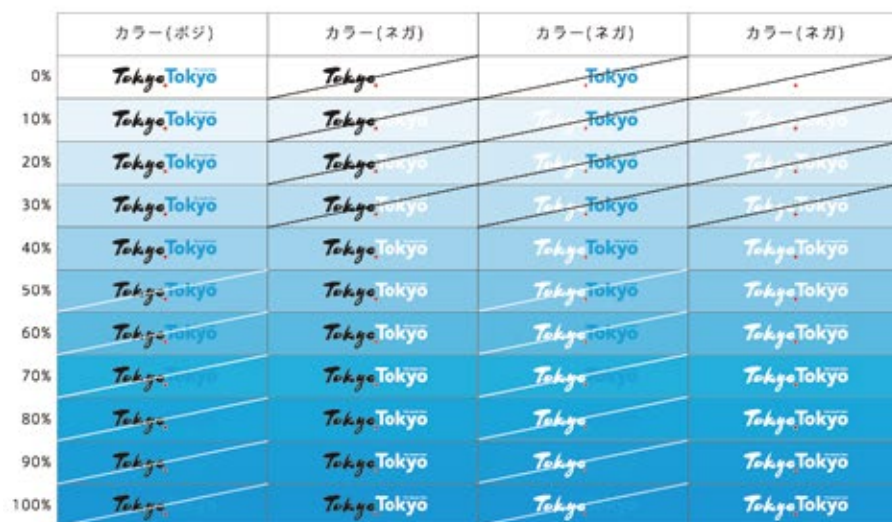
アイコンをカラーで ご使用する場合 落款 ヌキver.	Old meets New アリ				
	Old meets New ナシ				
アイコンをカラーで ご使用する場合 落款 白背景アリver.	Old meets New アリ				
	Old meets New ナシ				
アイコンをモノクロで ご使用する場合 落款 ヌキver.	Old meets New アリ				
	Old meets New ナシ				
アイコンをモノクロで ご使用する場合 落款 白背景アリver.	Old meets New アリ				
	Old meets New ナシ				

※印刷工程上や、視認性に支障がない限り、アイコンは常にカラーで表示してください。

海外発信に向けたアイコンの展開カラーと背景色

下図は、白以外の様々な濃度の背景色（または写真など）にアイコンを表示する際のイメージを示しています。

背景色の濃度によっては、アイコンの視認性が悪いため、表示できないカラー展開もあることに留意してください。



アイソレーション（保護エリア）

アイコンの表示は独立性、識別性をもって行うことが重要です。そのため、表示するにはその周辺に一定のアイソレーション(保護エリア)を設け、この領域内には他のデザイン要素や文字などは表示してはいけません。

下図に示したのは、確保すべき最小限の保護エリアですが、表示にあたっては可能な限り大きな余白スペースを設けるよう配慮してください。

基本形 1 Old meets New アリ



展開形 1 Old meets New アリ



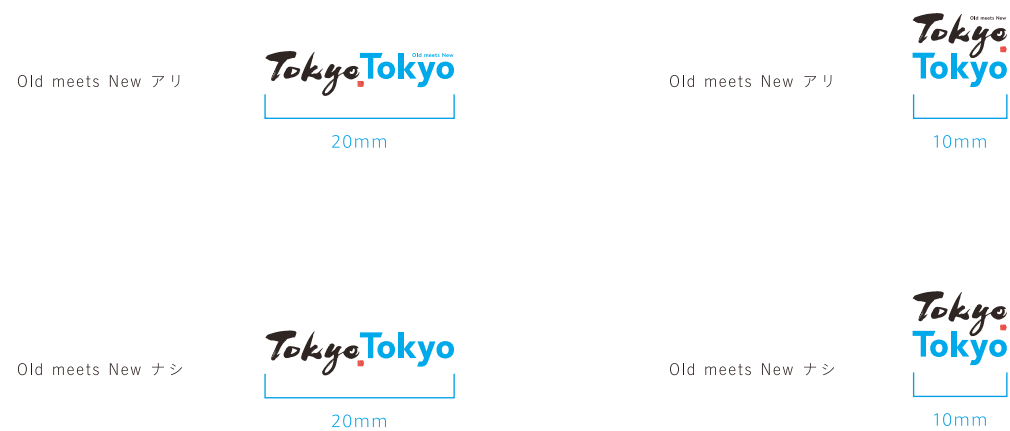
基本形 2 Old meets New ナシ



展開形 2 Old meets New ナシ



アイコン表示の最小使用サイズは下記までとします。



このページには、アイコンを表示する上で誤りがちな使用例を表示しています。

一貫したブランドコミュニケーション展開を行うためにも、アイコンの誤用は避けてください。



太さを変えてはいけません



カラーシステム以外の色に変更をしてはいけません（単色表示も不可）



印刷物等において3D表現をしてはいけません



変形してはいけません



印刷物においてシャドウをつけてはいけません



一部だけを使用してはいけません



書体を変えてはいけません



タテ組みを制作してはいけません



規定されている以外に文字組、バランスを変えてはいけません



アウトライン表示やフチで囲ってはいけません



パースをつけて表示してはいけません



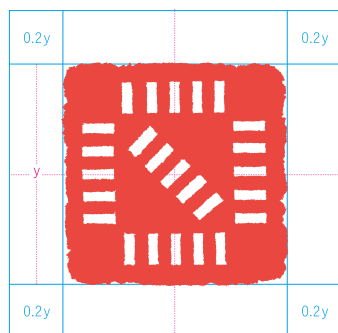
他要素やマークをロゴの上に重ねてはいけません

知事が認める場合は以下の利用方法を認めるものとする

「落款」「Old meets New」は、単独使用が可能です。

「落款」のみの使用について

アイソレーション（保護エリア）



最小使用サイズ



上図に示したのは、確保すべき最小限の保護エリアですが、表示にあたっては可能な限り大きな余白スペースを設けるよう配慮してください。

「Old meets New」のみの使用について

最小使用サイズ



展開カラーについては、「海外発信に向けたアイコンの展開カラーと背景色」に従ってください。

ひとつのアイテムの中であれば筆文字とゴシックとを分割することも可能です。



海外発信に向けたアイコンのデザインマニュアル 利用ガイドライン ver.01

作成日 平成 29 年 9 月 7 日

本ガイドラインの一部または全部を発行者の事前承諾なしに改編することを禁じます

本ガイドラインに記載された内容は予告なしに変更されることがあります。